

お知らせ

資料提供先 倉吉記者クラブ

水質事故に備え合同訓練を実施します。

天神川水系水質汚濁防止連絡協議会（会長：国土交通省倉吉河川国道事務所長 江角忠也）は、国土交通省、鳥取県、流域市町や関係機関で組織し、天神川水系における公共水域について、水質事故の早期対策による水質悪化抑止、汚濁の実態及び原因を究明による再発防止対策を行っています。

事故件数は平成20年度は10件、平成21年度は6件、今年度は現時点で2件と減少傾向で総じて重大事故の発生はありませんが、これから冬期を迎え、暖房燃料の漏洩や車両スリップ事故等の増加が心配されます。

協議会では水質汚濁拡散防止対策を緊急に行うケースも予想されることから、特に水質事故対応担当者を中心に水質汚濁の拡散防止や水質事故時の処理等における訓練を実施します。

なお、今回は樋門の上流で油類の流出が発見され、天神川本川への流出を防止する設定で訓練をします。

○報道対応は当日（10月28日15：00～）、現地で行います。

平成22年10月25日

国土交通省 倉吉河川国道事務所

○問い合わせ先

天神川水系水質汚濁防止連絡協議会

（事務局：国土交通省倉吉河川国道事務所 河川管理課）

電話番号（0858）26-6221（代表）

副 所 長 大池 勝則
河川管理課長 道原 純

平成22年度 水質事故対策訓練実施要領

1. 目 的 河川等の公共用水域で水質事故が発生した場合、その被害を最小限に
 くい止めるためには関係機関が密接な連携のもと迅速かつ的確な対策を
 行わなければならない。
 そのためには、日頃から関係機関相互の緊密な情報伝達体制を構築し
 ておくと共に、水質事故処理に関する知識や実践的現場対応能力を身に
 つけておくことが必要である。
 国土交通省、県、市町及び関係機関で構成する天神川水系水質汚濁防
 止連絡協議会は、今後の水質事故対応に万全を期するため水質事故対策
 技術の習得・錬磨を図ることを目的に水質事故対策訓練を実施するもの
 である。
2. 主 催 天神川水系水質汚濁防止連絡協議会
3. 日 時 平成22年10月28日（木） 15:00～
4. 場 所 沢井手排水樋門（河北小学校付近、別紙のとおり）
5. 参加機関 国土交通省 倉吉河川国道事務所
 鳥 取 県 水・大気環境課、農地・水保全課、河川課
 中部総合事務所 環境・循環推進課、維持管理課
 倉吉警察署 生活安全課
 市 町 倉吉市、北栄町、湯梨浜町、三朝町
 そ の 他 財団法人鳥取県天神川流域下水道公社
 総勢 24名参加
6. 訓練内容 倉吉市内水路で確認された油類が天神川に流出する危険性があるとの
 想定で樋門出口付近で万国旗型吸着マットの設置などの流出防止対策
 を講じる。



※ 実施場所付近には駐車スペースがあります。